

（午後3時25分 再開）

○議長（岡 弘悟君）休憩前に引き続き、会議を開きます。

日程に従い、一般質問を行います。

順番6、13番 樽井君。

〔13番（樽井豪男君）登壇〕

○13番（樽井豪男君）それでは、議長のお許しを得ましたので、一般質問を行います。次の先輩議員には余裕をもって時間を渡せると思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、1項目め、市道の交通安全対策について。

市道の交通安全対策については、いろんな範囲がありますが、今回、白線ラインについて伺います。

①管理する2車線道路の延長と、白線ラインが薄く、また、消えて支障を来している延長はどれくらいあるのか。

②予算のこともありますが、特に夜間等わかりにくく、早急に対処する必要があるのでは。

③横断歩道、停止線は警察の管轄ですが、どのようにタイアップしているのか。

大項目2、京奈和橋本道路についてでございます。

市の管轄ではありませんが、橋本インターから高野ロインターの間、舗装が非常に悪く、走行に支障を来し、また、よくフロントガラス等がよく割れたと聞いております。今年度の舗装修繕は期待できるのか。強く要望していただきたい。

以上です。

○議長（岡 弘悟君）13番 樽井君の質問項目1、市道の交通安全対策に対する答弁を求めます。

建設部長。

〔建設部長（奈良雅木君）登壇〕

○建設部長（奈良雅木君）市道の交通安全対策について、お答えします。

一点目の、管理する2車線道路の延長と、白線ラインが薄く、また、消えて支障を来している延長はどのくらいあるのかという質問ですが、本市が管理する市道の延長は約720kmあり、そのうち2車線道路の延長は約60kmです。また、白線ラインが消えて支障を来していると思われる延長は約25kmです。

二点目の、予算のこともありますが、特に夜間等わかりにくく、早急に対処する必要があるのではという質問ですが、中央線、側線、道路標示等を含む白線ラインの修繕に毎年約50万円から150万円の予算を使い、年間約1kmから2kmについてラインの引き直しを継続して行っています。

今後も限られた予算の中で、安全性を考慮しつつ、計画的に修繕していきたいと考えています。

三点目の、横断歩道、停止線は警察の直轄ですが、どのようにタイアップしているのかというご質問ですが、市民からの連絡や職員のパトロールにより発見された箇所については、直轄の警察署へ位置図及び現場写真を提出し、早急な対応を依頼しています。

○議長（岡 弘悟君）13番 樽井君、再質問ありますか。

13番 樽井君。

○13番（樽井豪男君）それでは、三、四点ほど再質問したいと思います。

今回の質問に際しまして、中央線が消えている道路の延長はどのようにして計上したかということで、全てまた現場のほうも確認し

て計上されたのか、そこらあたりをお伺いいたします。

○議長（岡 弘悟君）建設部長。

○建設部長（奈良雅木君）まず、市道台帳より2車線道路を全て抜粋いたしました。そして、きれいに資料のほうを整理して、それをもとに職員が全ての現場を回り測量し、算出いたしました。

以上です。

○議長（岡 弘悟君）13番 樽井君。

○13番（樽井豪男君）恐らく全部の延長を、現場を見て把握するというのはなかなかできないので、今回いい機会になって、これだけのキロ数が非常に消えたというのがよく認識されたと思います。

それについて、こういったことで現場を見た中で、部長の感想はどうですか。

○議長（岡 弘悟君）建設部長。

○建設部長（奈良雅木君）私の感想といたしましては、やはり2車線道路でセンターラインが消えている、これは非常に緊急性を感じました。よって、今後、優先順位を上げて取り組んでいきたい。ただしながら、予算の範囲内ということでお願いします。

以上です。

○議長（岡 弘悟君）13番 樽井君。

○13番（樽井豪男君）予算の範囲内というのは非常によくわかっておりますが、今後、優先順位をつける中で、計画的に修繕ということなんですけども、その中でいつでも、地元要望を優先してとかと思うんですけども、やはり道路管理者としては、こうした地元要望を待つだけでなく、自主的に、やはりその箇所を探して補修することを把握し、速やかに修繕するというのが第一と思うんですけども、これはやっぱり地元の要望にはあまりそぐわないとは思いますが、こういった安全施設については、カーブミラーとかそういうのは別で

すけども。そのあたりのお考えはどうですか。

○議長（岡 弘悟君）建設部長。

○建設部長（奈良雅木君）おただしの地元要望というのは非常に私どもも重要視しています。ただしながら、定期的なパトロールをさらに強化して現状の把握に努める、これは非常に大事なことかと思えます。

そういうことを総合的に判断した中で、やっぱり緊急性というのを考えて優先順位をきちっとつけて、計画的に修繕を行っていきたいと、このように思います。

以上です。

○議長（岡 弘悟君）13番 樽井君。

○13番（樽井豪男君）次に、お金の話なんですけども、今回、恐らく市の管理の中には国からの交付金がかかりのお金が入ってきておると思えます。指導管理に向けての。その中でもやっぱりいろんな財源が必要ですので、この市道の管理にはあまりお金がかけられないということで、予算的には少ないだろうと思うんですけども、そういった中で、先ほど、25kmあって、今、1m当たりの白線の単価、もう私どももやっとなる時分やったら安いもんやっただんですけども、100円か百何ぼぐらいやっただと思うんですけども、非常にさっきからキロ数から1kmから2kmしかできないということは、かなりの1m当たりの単価が必要になっているのかなとは思うんですけども、あと、交付金の話と、そういった1m当たりだいたいいくらぐらいかかるのか、それと25kmをもし全てやるならば何年かかるか、ひとつよろしくをお願いします。

○議長（岡 弘悟君）建設部長。

○建設部長（奈良雅木君）まず、1m当たりの単価ですが、約650円でございます。もしも年間50万円費やして修繕したと仮定したときに、約30年かかるということになります。

しかしながら、30年の間にまた違うところ

が消えてくるというようなこともございますので、その辺についてはきちっと優先順位を見定めて、計画的に直していきたい。ただし、緊急性があるものについてはこの限りではございません。

交付金ですが、財政課に確認したところ、平成30年度予算ベースで、地方揮発油譲与税、これが6,600万円、自動車重量譲与税、これが1億6,500万円、自動車所得税交付金、これが6,000万円、それと、交通安全対策特別交付金、これが600万円、締めて2億9,700万円となっております。

以上です。

○議長（岡 弘悟君）13番 樽井君。

○13番（樽井豪男君）それだけのお金、市もいろんな取り組みをしていますので、何もその2割でも3割でも使ってよという話はしません。やはり、危なかったら早急に少しでも対処できるという方法もまず考えていかなければならないと思います。

その中で、一つ提案、私の考えておる提案じゃないですけども、極端に言うたら、1kmから2kmするやつを4kmする方法はないんかよと。早い話、全線引くんじゃなしに、非常に危ない箇所、曲がり角とか上り坂の見えないところとか、そういったところだけでも白線処理をしていくとか、そういったものは交通ルール上、行けるのか行けないのか。それでもちょっとでも延長は伸びますので。

やはり、見にくいところとかをやれば、特にカーブとかは本当にセンターラインを割って危ない場合もあります。そういったところが、仮に100m間でもそれを白線処理するとか、特に、2車線に限らず、夜間等、特に路側の線が非常に見えにくくて、横に溝があってもわからないとかというのがあったりします。

そういったこともありますので、そのあたりのお考え、研究はしていただけますでしょ

うか。

○議長（岡 弘悟君）建設部長。

○建設部長（奈良雅木君）確かに、今の議員の提案はコスト削減の観点からは非常にメリットがある話だと思います。ただしながら、交通安全、いわゆる警察のほうともいろいろ協議して、いろいろ話を聞かせていただきながら、そういうふうな方法がとれるのであれば、コスト削減ということで施工していきたいというふうに考えます。

○議長（岡 弘悟君）13番 樽井君。

○13番（樽井豪男君）それと、一つ気になるんですけども、そういった白線が消えて事故が起こったりとか、その因果関係で事故が起こったりとかした場合に、市が今、賠償保険等に加入していますけども、十分、それ因果関係はあると思いますけども、これは適用になるんですか。そういった白線とかは。

ガードレールとか、よくカーブミラーとかあったりするんですけども、特に舗装の悪いところとかあったりするんですけども、こういった白線についても、交通安全施設の中に入っておるのか、また、そういった保険の適用になるのか、それを伺います。

○議長（岡 弘悟君）建設部長。

○建設部長（奈良雅木君）私どもでは、道路賠償責任保険というのに加入しております。白線も道路構造上、交通安全に必要な施設でございますので、白線が消えたことによって事故につながったという因果関係が証明されるのであれば、保険対象になるというふうに聞いております。

以上です。

○議長（岡 弘悟君）13番 樽井君。

○13番（樽井豪男君）やっぱり、非常に夜間が本当に目安というのか、がないので、特に端っこのほうを走っておる場合に、白線でもあれば見やすいんですけども、横ががけなの

か溝なのか、非常にわからなくて突っ込んだりするというのがありますので、こういう事態がないようにだけ、よろしく願いいたします。

一つ目の最後なんですけども、警察との連携ということで、いろいろ警察との協力関係をしていただいているんですけども、もうちょっと詳しい話ができれば、お話ししていただきたいと思います。

○議長（岡 弘悟君）建設部長。

○建設部長（奈良雅木君）そうしたら、現状をお話しさせていただきます。

非常に今、警察とは連携が深くとれている状態でございます。よって、本来、横断歩道、停止線、これについては警察が施工するべきものではございますが、緊急性があると判断した場合は、もちろん警察と協議を行うわけでなんですが、そんな中でやはりタイミングとか予算というの、どちらも市も警察もあるわけで、できるほうがやるというような形で、私どもで警察の許可を得た上で横断歩道を書いたり停止線を引いたり、そのかわりという言い方はおかしいですけども、警察のほうが自分とこの施工の範囲で、本来なら市でやるべきことを代替でしてくれたりとかいうふうに、非常に調整、連携がとれている状態でございますので、今後もその連携をより深め、交通安全に頑張りたいと思います。

以上です。

○議長（岡 弘悟君）13番 樽井君。

○13番（樽井豪男君）割と一般の方は、どないしても停止線とか横断歩道、何か警察と違うて市の仕事とかよく言われますので、やはりその住み分けはきっちり説明していただいていると思います。そういうことで、十分、特に横断歩道とかは非常に、消えた箇所がかなり多いので、要望できるところは十分要望していただきたいと思います。

1番を終わります。

○議長（岡 弘悟君）次に、質問項目2、京奈和橋本道路に対する答弁を求めます。

建設部長。

〔建設部長（奈良雅木君）登壇〕

○建設部長（奈良雅木君）京奈和橋本道路についてお答えします。

橋本インターから高野口インターの間の舗装について、国土交通省近畿地方整備局和歌山河川国道事務所に確認したところ、8月31日から9月2日にかけて、一部の区間において舗装修繕を実施したとのことで、本市も現地を確認したところ、特に状態の悪かった箇所のみ補修されておりました。

今後も、京奈和橋本道路に限らず、国道や県道等に異常があった場合、担当部署へ早急な補修や修繕の要望をしていきたいと考えています。

○議長（岡 弘悟君）13番 樽井君、再質問ありますか。

13番 樽井君。

○13番（樽井豪男君）これは市の直轄と違うので、国道、京奈和自動車道ですけども、ちょっと理事にお伺いしたいんですけども、今回、京奈和自動車道の舗装をされたのは、高野口インター手前、約1km弱と思うんですけども、それも下り線だけということで、ちょうど私が一般質問を出したときに、その後こういうことがわかりまして、これは出そうかな、出さんとこうかなと思ったりもしたんですけども、やはり、もうちょっと修繕箇所が広がるのかなと思いましたが、割とちょっとの間しかしてくれへんなんで、先ほど答弁の中でも、京奈和自動車道に限らず国道や県道に異常があった場合ということで、こういった京奈和自動車道自体、特に橋本高野口間は非常に悪い。私も知り合いとかにも、よくフロントガラスが割れたとか、よく言わ

れています。

もっと箇所を延長してもらおうとか、まして、国道でも非常に悪い箇所、先ほども同僚議員から錢坂のところ悪いぞとかいう話もありましたので、やはり国にもっと強い要望をしていただいて、恐らくこれは特定財源がもうなくなったという絡みの中で、非常にそういった修繕関係が厳しくなったと思うんですけども、やはり、言うことはきっちり言うていただいて、国道交通省にちょっとでも橋本市の道路がよくなるような要望活動をしていていただきたいと思うんですけども、理事に答弁をお願いいたします。

○議長（岡 弘悟君）理事。

○理事（久保 進君）お答えいたします。

確かにこの京奈和自動車道については、もうちょっと、逆に、上り車線のほうもある程度してくれるのかなという期待は持っておったんですけども、実際、見てみたところ、やっぱり一番悪かったのが下り車線の和歌山向きのラインやったということで、国のほうも予算的な問題もいろいろあるとは思いますが、今後とも、特に京奈和自動車道をはじめ、それから国道24号についても、国土交通省のほうへ働きかけていって、できるだけこちらのほうへ予算をようけ回してもらおうような話とか、いろいろしていきたいというふうに考えています。

○議長（岡 弘悟君）13番 樽井君の一般質問は終わりました。